

追跡

— あの質問のゆくえ —

史料館、資料館の設置は

- ①第5次総合計画で歴史資料館を建設するのか(22年3月議会一般質問)
- ②町の史料館についての考えは(23年3月議会総括質疑)
- ③中央公民館に史料館(展示室)は(23年6月議会一般質問)

当局答弁

- ①今ある公共施設の再配置を検討し、一時的にでも展示できる保存の在り方を検討していきます。
- ②史料館の必要性は十分認識しているが、町財政等々を含めて検討していく。
- ③リニューアル構想で計画している展示室は、季節別の風俗や習慣、時代別の生活の様子などを展示して学習できる場として考えている。

どうなっている



史料保管の続く旧中山小体育館

第5次総合計画では歴史、民俗資料を調査整理し、既存施設利用も含め、歴史民俗資料館の整備について検討するとしています。鮎貝の史料保管センター及び旧鷹山小学校に保管していた史料は、旧中山小学校体育館に保管しており、他の空き公共施設を利用して保管するべく検討しています。展示場所として予定していた中央公民館は、防災センターとして整備することから、展示する施設については、町財政等々と調整をはかりながら検討していきます。

お手持ちのパソコンで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

町民の声



議会の傍聴には、何となく足が重く行く機会がありません。代わりに、インターネットで議会中継を見ることができています。

小さな地方自治体が単独でそのシステムをもっていることが素晴らしい。ただ、国会中継を見慣れているせいか、当町議会は質問、答弁とも長く迫力がイマイチ。持ち時間の中で、一問一答を増やすなど、「視聴者」も意識し工夫したらいいか。

(荒砥 60代 男性)



春の訪れ

広報委員

委員長	佐藤 京一
副委員長・編集長	山田 仁
委員	小口 尚司
委員	新野 いく子
委員	奥山 勝吉
印刷	長谷川印刷

創刊号の中に、この議会だよりが「現在と将来にわたる町の重要な政策を議決する、議会の全ぼうと議員の政治活動を、議会だよりを以て広報し、議会と住民の情報媒体として長く継続させ」とあり、当時の議会広報紙発刊に対する強い想いを感じることができました。今でもその想いは変わらず、自らに問いかけながら編集に臨みたいと思います。

《小口》

編集後記



1984年(昭和59年)4月23日、しらたか町「議会だより」が創刊され、今年で30周年の記念すべき節目の年となります。